

## 米国フロリダ州産オレンジ グリーニング病と気候問題で低い収穫量

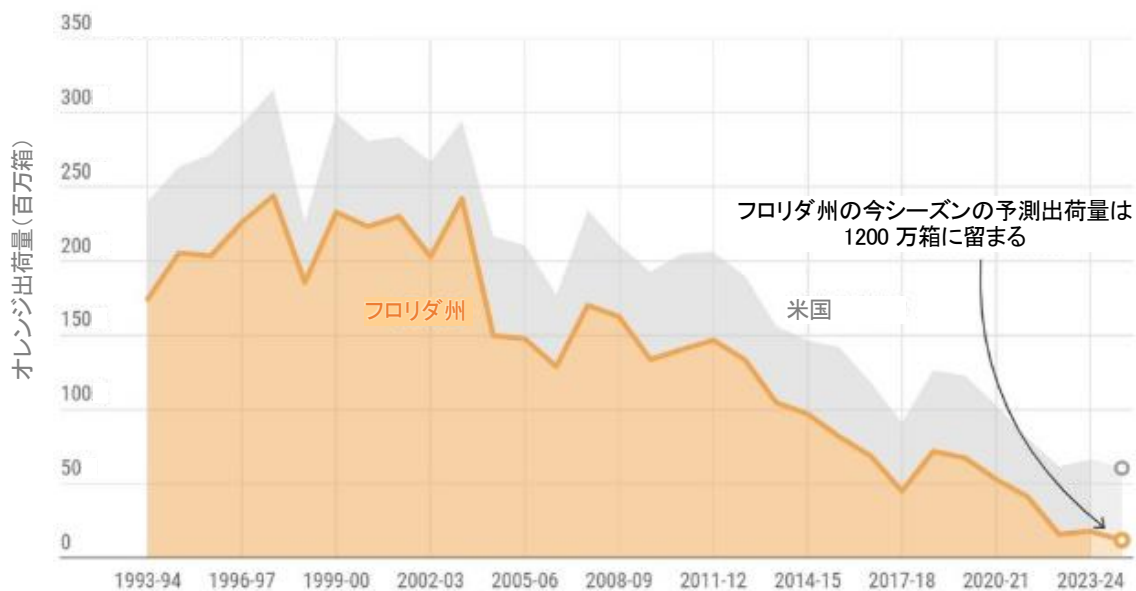
FreshPlaza 2025年1月28日

フロリダ州のオレンジ生産者達は、カンキツグリーニング病と気候問題で記録的に低い収穫量に直面

フロリダ州のオレンジ生産者達は、気候問題と果樹の病害の影響の中で、記録的に低い収穫量に備えており、かつて繁栄した産業は衰退を続けている。米国農務省の1月の予測では、生産量が30年前と比較して90%減少すると予測されている。この低迷は、主要な労働者団体の運営停止と、州内最大の生産事業者の1つが経済的な継続不能を理由に柑橘類セクターから撤退したことに続くものである。

フロリダ州のオレンジ生産者はもう1年記録的な不作に見舞われる見込み

カンキツグリーニング病と度重なるハリケーンが、かつては活気のあったフロリダ州の柑橘類産業を弱体化



2024-2025の合計は予測値。最新のオレンジ出荷量予測は1月10日公表。

不治の病であるカンキツグリーニング病との闘いは10年以上続いており、遺伝子組み換え果樹の研究が有望視されている。しかし、フロリダ大学のマイケル・ロジャース氏によると、業界は回復への長い道のりに直面しており、科学は病害の蔓延に追いつくのに苦労している。

4代目の生産者であるカイル・ストーリー氏は、回復の努力を妨げているカンキツグリーニング病や異常気象がもたらす課題を目の当たりにしてきた。キジラミによって広がるこの病害は、果樹の維管束を損ない、果実の生産量を減らし、最終的には果樹を枯死させる。嵐や洪水から果樹園を守るための取組みが実施されてきたが、成果は限られている。

最近のハリケーンは、果樹園の被害を悪化させており、回復には数シーズンの時間と多額の投資が必要である。ストーリー氏のような生産者は、防護スクリーンや抗菌剤など、様々な戦略を採用することで適応してきたが、収穫量が減少する中、これらの対策にはコストが伴う。

業界では柑橘類の果樹園が減少しており、2012年以降、栽培面積の半分以上が失われた。この傾向は、グリーニング病との闘いの末に柑橘類の事業から撤退したアリコ社の決定と、ガルフ柑橘類生産者協会の運営停止によって際だったものとなった。

これらの挫折にもかかわらず、柑橘類業界の未来のために取り組んでいる中核的な生産者グループが残っている。将来のために果樹を植え直し、農業用地の指定を維持していることは、抵抗性果樹の開発を目的とした継続的な研究とともに、この献身な取組みを裏付けるものである。フロリダ州政府柑橘局は、回復を果た

し、将来の需要に対応する業界の能力について楽観的な見方をしている。

業界としてこれらの課題を乗り越えようと、解決策を見つけ出してフロリダ州の柑橘類の遺産を維持するために、生産者や研究者が取り組んでいることは明らかである。回復への道りは長いかわからないが、関係者の回復力は、フロリダ州の代表的な作物の未来に希望を与えてくれる。

出典: [Tampa Bay Times](https://www.tampabay.com)

## (関連記事) 米国 柑橘類出荷予測 1月

[米国農務省農業統計局 2025年1月10日](#)

フロリダ州農業消費者サービス局との共同発表

### 柑橘類の品目別出荷量及び予測出荷量 - 州別及び米国計

品目及び州	出荷量 <sup>1</sup>		2024-2025 予測出荷量 <sup>1</sup>	
	2022-2023 (1,000 箱)	2023-2024 (1,000 箱)	12 月予測 (1,000 箱)	1 月予測 (1,000 箱)
<b>バレンシア種以外のオレンジ<sup>2</sup></b>				
フロリダ州	<b>6,150</b>	<b>6,760</b>	<b>5,000</b>	<b>5,000</b>
カリフォルニア州 <sup>3</sup>	36,000	38,200	39,000	39,000
テキサス州 <sup>3</sup>	570	690	400	600
米国計	42,720	45,650	44,400	44,600
<b>バレンシア種のオレンジ</b>				
フロリダ州	<b>9,670</b>	<b>11,200</b>	<b>7,000</b>	<b>7,000</b>
カリフォルニア州 <sup>3</sup>	8,600	9,300	8,700	8,400
テキサス州 <sup>3</sup>	560	490	450	300
米国計	18,830	20,990	16,150	15,700
<b>オレンジ合計</b>				
フロリダ州	<b>15,820</b>	<b>17,960</b>	<b>12,000</b>	<b>12,000</b>
カリフォルニア州 <sup>3</sup>	44,600	47,500	47,700	47,400
テキサス州 <sup>3</sup>	1,130	1,180	850	900
米国計	61,550	66,640	60,550	60,300
<b>グレープフルーツ</b>				
フロリダ州合計	<b>1,810</b>	<b>1,790</b>	<b>1,200</b>	<b>1,200</b>
赤肉系	<b>1,560</b>	<b>1,550</b>	<b>1,050</b>	<b>1,050</b>
白肉系	<b>250</b>	<b>240</b>	<b>150</b>	<b>150</b>
カリフォルニア州 <sup>3</sup>	4,500	4,300	4,200	3,700
テキサス州	2,250	2,400	1,900	2,500
米国計	8,560	8,490	7,300	7,400
<b>レモン</b>				
フロリダ州 <sup>4</sup>	<b>(NA)</b>	<b>(NA)</b>	<b>500</b>	<b>600</b>
アリゾナ州	1,400	950	900	900
カリフォルニア州	25,800	24,600	26,000	26,000
米国計	27,200	25,550	27,400	27,500
<b>タンジェリン及びマンダリン<sup>5</sup></b>				
フロリダ州	<b>480</b>	<b>450</b>	<b>350</b>	<b>300</b>
カリフォルニア州 <sup>3</sup>	23,500	27,400	25,000	25,000
米国計	23,980	27,850	25,350	25,300

(NA)はデータなし

<sup>1</sup> 1箱当たりの正味重量(ポンド) オレンジ: カリフォルニア州 80、フロリダ州 90、テキサス州 85。グレープフルーツ: カリフォルニア州及びテキサス州 80、フロリダ州 85。レモン: アリゾナ州及びカリフォルニア州 80、フロリダ州 90。タンジェリン及びマンダリン: カリフォルニア州 80、フロリダ州 95。

<sup>2</sup> フロリダ州ではバレンシア種以外の早生品種(ネーブル種を含む)及びバレンシア種以外の中生品種。カリフォルニア州ではネーブル種及びその他の品種。テキサス州では早生品種及び中生品種。

<sup>3</sup> カリフォルニア州ではボメロを含む。

<sup>4</sup> 2024-25 年度産から推計を実施。

<sup>5</sup> タンジェロを含む。